

受験
番号

第 114 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平

試験地 (会議所名)	採点欄

1 級 ①

氏名

商業簿記

問1

採点欄

(単位：千円)

借 方		貸 方	
為 替 予 約	1,800	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1,800

問2

土 地	69,000	千円
のれん	500	千円
長期借入金 (外貨建)	35,100	千円
その他有価証券評価差額金	330	千円

問3

損 益 計 算 書

(単位：千円)

売上原価		売上高	(433,500)
期首商品棚卸高	(24,800)	受取利息	(1,500)
当期商品仕入高	(282,100)	受取配当金	(1,200)
期末商品棚卸高	△ (28,800)	有価証券利息	(1,253)
小 計	(278,100)	(有価証券評価益)	(300)
販売費	(35,350)	(為 替 差 益)	(600)
一般管理費	(78,600)	()	()
貸倒引当金繰入	(108)		
減価償却費	(3,075)		
(支 払 利 息)	(1,500)		
(商品 低 価 評 価 損)	(900)		
(為 替 差 損)	(400)		
(減 損 損 失)	(4,700)		
()	()		
税引前当期純利益	(35,620)		
	(438,353)		(438,353)
法人税等	(200,000)	税引前当期純利益	(35,620)
法人税等調整額	△ (2,475)		
当期純利益	(18,095)		
	(35,620)		(35,620)

--	--	--	--

生年月日 昭・平

氏名

第 114 回簿記検定試験答案用紙

1 級 ②

会 計 学

試験地 (会議所名)	採 点 欄

第 1 問

①	当期の為替差損益
②	後発事象
③	未認識過去勤務債務
④	当期製造費用
⑤	期中平均株式数

採 点 欄

第 2 問

個別ベースのキャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローを直接法で作成する場合

P社の営業収入の金額	+ 45,000	万円
S社の商品の仕入支出の金額	△ 9,960	万円
P社の営業活動によるキャッシュ・フローの金額	+ 3,140	万円

連結キャッシュ・フロー計算書

間接法による場合の税金等調整前当期純利益の金額	6,630	万円
直説法で作成する場合の商品の仕入支出の金額	△ 35,130	万円
営業活動によるキャッシュ・フローの金額	+ 3,430	万円

第 3 問

(1) (事例 1) における諸資産 (のれんを除く) の金額	6,000	千円
(2) (事例 1) におけるのれんの金額	1,000	千円
(3) (事例 1) におけるその他資本剰余金の金額	250	千円
(4) (事例 2) において取得したB社株式の金額	5,600	千円
(5) (事例 2) におけるのれんの金額	0	千円
(6) (事例 2) における資本準備金の金額	2,600	千円

受験
番号

第 114 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

氏名 _____

工業簿記

問 1

(単位：千円)

材		料		採点欄
月初有高	(1,400,000)	仕掛品	(7,794,800)	
仕入高	(7,079,500)	月末有高	(684,700)	
	<u>(8,479,500)</u>		<u>(8,479,500)</u>	

問 2

仕		掛 品		採点欄
月初有高	(5,483,600)	製 品	(27,508,100)	
直接材料費	(7,794,800)	月末有高	(6,185,500)	
直接労務費	(5,893,200)			
直接経費	(4,700,000)			
製造間接費	(9,822,000)			
	<u>(33,693,600)</u>		<u>(33,693,600)</u>	

問 3

仕		掛 品		採点欄
月初有高	(5,483,600)	製 品	(26,914,0870)	
直接材料費	(7,794,800)	月末有高	(6,779,513)	
直接労務費	(5,893,200)			
直接経費	(4,700,000)			
製造間接費	(9,822,000)			
	<u>(33,693,600)</u>		<u>(33,693,600)</u>	

生年月日 昭・平 . . .

受験
番号

氏名

第 114 回簿記検定試験答案用紙

1 級 ④

原 価 計 算

試験地 (会議所名)	採 点 欄

第 1 問

採 点 欄

(1)	+72 万円
(2)	+96 万円
(3)	160 万円
(4)	672 万円

第 2 問

(1) 適切なものの番号に○をつけなさい。

- 1. 投資案Aの方が有利である。
- 2. 投資案Bの方が有利である。
- 3. どちらが有利ともいえない。

(2) 適切なものの番号に○をつけなさい。

- 1. 投資案Aの方が有利である。
- 2. 投資案Bの方が有利である。
- 3. どちらが有利ともいえない。

(3) 適切なものの番号に○をつけなさい。

- 1. 投資案Aの方が有利である。
- 2. 投資案Bの方が有利である。
- 3. どちらが有利ともいえない。

商業簿記解説(単位：千円)

(資料Ⅱ)

- (1) (決算日レート@118-予約レート@115)×600千ドル=+1,800(差益)
 為替予約 1,800 | 繰延ヘッジ損益 1,800
- (2) 借入時
 現金預金 43,200 | 長期借入金 43,200
 為替予約時
 為替差損 400 | 長期借入金 900
 長期前払費用 500 |
 長期借入金の貸借対照表価額 @117×300千ドル=35,100
 直々差額 (@114-@115)×300千ドル=△300(差損)
 直先差額 (@115-@117)×300千ドル=△600(差損)
 直先差額の当期負担分

$$600 \times \frac{6 \text{ヶ月}}{36 \text{ヶ月}} = 100$$

(資料Ⅲ)

- (1)
 現金預金 200 | 未払金 200
 現金預金 200 | 売掛金 200
- (2)
 仕入 24,800 | 繰越商品 24,800
 繰越商品 28,800 | 仕入 28,800
 商品低価評価損 900 | 繰越商品 900

商品 (原価)		商品 (売価)		
期首	売上原価	期首	売上高	
24,800		(40,000)		
当期仕入		当期仕入 282,100	433,500	
282,100	期末	値入額 160,900		
		値上額 12,000	期末(帳簿)	実地
		値下額 △16,500	45,000	45,000

原価法原価率：
$$\frac{24,800 + 282,100}{40,000 + 282,100 + 160,900 + 12,000 - 16,500} = \frac{306,900}{478,500} = 64.1\cdots\% \Rightarrow 64\%$$

低価法原価率：
$$\frac{24,800 + 282,100}{40,000 + 282,100 + 160,900 + 12,000} = \frac{306,900}{495,000} = 62\%$$

原価法原価率 0.64

低価法原価率 0.62

低価法評価損 900	← 帳簿棚卸高 45,000×0.64=28,800
期末実地棚卸高 45,000×0.62 =27,900	

帳簿棚卸売価
45,000

(3)

A社株式

有価証券	300		有価証券評価益	300
時価 20,500－簿価 20,200＝＋300(評価益)				

B社株式

投資有価証券	15,000		有価証券	15,000
その他有価証券	800		その他有価証券評価差額金	440
繰延税金負債				
360				

時価 15,800－取得原価 15,000＝＋800(評価益)

繰延税金負債：800×45%＝360

その他有価証券評価差額金：800－360＝440

C社株式

関係会社株式	30,000		有価証券	30,000
--------	--------	--	------	--------

D社社債

投資有価証券	17,900		有価証券	17,900
投資有価証券	653		有価証券利息	653
その他有価証券	300		その他有価証券評価差額金	165
繰延税金負債				
135				

前々期末 クーポン利息：20,000×3%＝600

実効利息：16,720×7%＝1,170.4 ⇒ 1,170

償却額：1,170－600＝570

前期末 クーポン利息：20,000×3%＝600

実効利息：(16,720＋570)×7%＝1,210.3 ⇒ 1,210

償却額：1,210－600＝610

当期末

決算整理前残高試算表上残高 16,720＋570＋610＝17,900

クーポン利息：20,000×3%＝600

実効利息：(16,720＋570＋610)×7%＝1,253

償却額：1,253－600＝653

時価 18,853－償却原価 (17,900＋653)＝＋300(評価益)

繰延税金負債：300×45%＝135

その他有価証券評価差額金：300－135＝165

E社株式

投資有価証券	10,000		有価証券	10,000
その他有価証券評価差額金	275		投資有価証券	500
繰延税金資産	225			

時価 9,500－取得原価 10,000＝△500(評価損)

繰延税金資産：500×45%＝225

その他有価証券評価差額金：500－225＝275

(4)

減損損失	4,700		建物	1,200
土地				
1,000				
のれん				
2,500				

減損損失控除前の帳簿価額合計 30,000－回収可能価額合計 25,300＝減損損失 4,700

減損損失の配分

建物 10,000－8,800＝ 1,200

土地 15,000－14,000＝ 1,000

のれん 2,500

4,700

(5)	売掛金	600		為替差益	600
	(@118-@115)×200千ドル=+600(差益)				
	貸倒引当金繰入	108		貸倒引当金	108
	{12,000+(28,000-200+600)}×2%-700=108				
(6)	減価償却費	3,075		建物減価償却累計額	2,400
				備品減価償却累計額	675
	建物 (90,000-10,000)×0.9÷30年=2,400				
	備品 (8,000-2,000)×0.9÷8年=675				
(7)	未収利息	100		受取利息	100
	前払利息	200		支払利息	200
	販売費	350		未払販売費	350
(8)	法人税等	20,000		仮払法人税等	2,500
				未払法人税等	17,500
	繰延税金資産	2,925		法人税等調整額	2,925
	法人税等調整額	450		繰延税金負債	450
	繰延税金資産 6,500×45%=2,925				
	繰延税金負債 1,000×45%=450				

工業簿記解説(単位：円)

問1

A製品		生産データ		B製品		生産データ	
月初	600個 (300個)	完成品	1,730個 (1,730個)	月初	970個 (485個)	完成品	2,820個 (2,820個)
A-512	200個	A-512	200個	B-616	350個	B-616	350個
A-513	150個	A-513	150個	B-617	340個	B-617	340個
A-514	250個	A-514	250個	B-618	280個	B-618	280個
	600個	A-515	300個		970個	B-619	320個
当月投入	1,680個 (1,705個)	A-516	200個	当月投入	3,040個 (2,970個)	B-620	450個
A-515	300個	A-517	180個	B-619	320個	B-621	420個
A-516	200個	A-518	250個	B-620	450個	B-622	360個
A-517	180個	A-519	200個	B-621	420個	B-623	300個
A-518	250個		1,730個	B-622	360個		2,820個
A-519	200個	月末	550個 (275個)	B-623	300個	月末	1,190個 (595個)
A-520	300個	A-520	300個	B-624	400個	B-624	400個
A-521	100個	A-521	100個	B-625	360個	B-625	360個
A-522	150個	A-522	150個	B-626	430個	B-626	430個
	1,680個		550個		3,040個		1,190個

A 材料

月初				当月消費高			
	400個	@1,000	400,000	月初	400個	@1,000	400,000
当月購入				11/ 2	400個	@1,030	412,000
11/ 2	400個	@1,030	412,000	10	400個	@1,020	408,000
10	400個	@1,020	408,000	20	250個	@1,010	252,500
20	250個	@1,010	252,500	24	230個	@ 990	227,700
24	300個	@ 990	297,000				1,700,200
30	300個	@ 990	297,000	月末			
			1,666,500	11/24	70個	@ 990	69,300
				30	300個	@ 990	297,000
							366,300

B 材料

月初				当月消費高			
	500個	@2,000	1,000,000	月初	500個	@2,000	1,000,000
当月購入				11/ 6	500個	@2,010	1,005,000
11/ 6	500個	@2,010	1,005,000	8	400個	@2,020	808,000
8	400個	@2,020	808,000	13	500個	@2,010	1,005,000
13	500個	@2,010	1,005,000	17	800個	@2,000	1,600,000
17	800個	@2,000	1,600,000	27	340個	@1,990	676,600
27	500個	@1,990	995,000				6,094,600
			5,413,000	月末			
				11/27	160個	@1,990	318,400

問2

ロット番号	数量 (個)	直接作業 時間 (時間)	月初 仕掛品 資料3より	直接 材料費 問1より	直接 労務費 ×@1,200	直接 経費 ×@1,000	製造 間接費 ×@2,000	合計	備考
A-512	200	98	780,800	—	117,600	—	196,000	1,094,400	完成
A-513	150	74	438,000	—	88,800	150,000	148,000	824,800	完成
A-514	250	208	448,400	—	249,600	250,000	416,000	1,364,000	完成
A-515	300	300	—	300,000	360,000	300,000	600,000	1,560,000	完成
A-516	200	196	—	203,000	235,200	200,000	392,000	1,030,200	完成
A-517	180	173	—	185,400	207,600	180,000	346,000	919,000	完成
A-518	250	249	—	256,200	298,800	250,000	498,000	1,303,000	完成
A-519	200	193	—	204,000	231,600	200,000	386,000	1,021,600	完成
A-520	300	153	—	303,700	183,600	300,000	306,000	1,093,300	仕掛中
A-521	100	54	—	99,400	64,800	—	108,000	272,200	仕掛中
A-522	150	38	—	148,500	45,600	—	76,000	270,100	仕掛中
B-616	350	172	1,706,000	—	206,400	—	344,000	2,256,400	完成
B-617	340	168	1,320,000	—	201,600	340,000	336,000	2,197,600	完成
B-618	280	234	790,400	—	280,800	280,000	468,000	1,819,200	完成
B-619	320	354	—	640,000	424,800	320,000	708,000	2,092,800	完成
B-620	450	496	—	902,700	595,200	450,000	992,000	2,939,900	完成
B-621	420	471	—	846,100	565,200	420,000	942,000	2,773,300	完成
B-622	360	398	—	725,700	477,600	360,000	796,000	2,359,300	完成
B-623	300	328	—	603,000	393,600	300,000	656,000	1,952,600	完成
B-624	400	236	—	800,500	283,200	400,000	472,000	1,955,700	仕掛中
B-625	360	210	—	720,000	252,000	—	420,000	1,392,000	仕掛中
B-626	430	108	—	856,600	129,600	—	216,000	1,202,200	仕掛中
合計			5,483,600	7,794,800	5,893,200	4,700,000	9,822,000	33,693,600	

問3

A製品 原価計算表

摘要	直接材料費		加工費		合計
	数量	金額	換算数量	金額	
当月投入	1,680	1,700,200	1,705	7,385,200	9,085,400
月末仕掛品	550	556,613	275	1,191,161	1,747,774
差引	1,130	1,143,587	1,430	6,194,039	7,337,626
月初仕掛品	600	600,000	300	1,067,200	1,667,200
合計：完成品	1,730	1,743,587	1,730	7,261,239	9,004,826

B製品 原価計算表

摘要	直接材料費		加工費		合計
	数量	金額	換算数量	金額	
当月投入	3,040	6,094,600	2,930	13,030,000	19,124,600
月末仕掛品	1,190	2,385,715	595	2,646,024	5,031,739
差引	1,850	3,708,885	2,335	10,383,976	14,092,861
月初仕掛品	970	1,940,000	485	1,876,400	3,816,400
合計：完成品	2,820	5,648,885	2,820	12,260,376	17,909,261

原価計算解説

第1問(単位:円)

(1)

旧機械をそのまま使用する案

	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
in		① 600,000	① 600,000	① 600,000	① 600,000	② 200,000
out						③ 80,000
	0	+ 600,000	+ 600,000	+ 600,000	+ 600,000	+ 720,000

現在 0
 + 600,000 × 2.99 = + 1,794,000
 (+200,000 - 80,000) × 0.402 = + 48,240
 正味現在価値 + 1,842,240
 5年の年金現価係数: 0.833 + 0.694 + 0.579 + 0.482 + 0.402 = 2.990

- ① 減価償却費に対する法人税等節約額 7,500,000 ÷ 5年 × 40% = 600,000
- ② 5年後の売却価額
- ③ 5年後の売却時

固定資産売却益に対する法人税増加額	200,000 × 40% = 80,000		
現金預金	200,000	設	備 12,000,000
減価償却累計額	12,000,000	固定資産売却益	200,000

新機械を購入する案

	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
in	⑥ 1,960,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000
out	④ 7,500,000	① 600,000	① 600,000	① 600,000	① 600,000	② 500,000
	△ 2,940,000	+ 1,800,000	+ 1,800,000	+ 1,800,000	+ 1,800,000	+ 2,100,000

現在 △ 2,940,000
 + 1,800,000 × 2.99 = + 5,382,000
 (+500,000 - 200,000) × 0.402 = + 120,600
 正味現在価値 + 2,562,600
 5年の年金現価係数: 0.833 + 0.694 + 0.579 + 0.482 + 0.402 = 2.990

- ① 減価償却費に対する法人税等節約額 7,500,000 ÷ 5年 × 40% = 600,000
- ② 5年後の売却価額
- ③ 5年後の売却時

固定資産売却益に対する法人税増加額	500,000 × 40% = 200,000		
現金預金	500,000	設	備 7,500,000
減価償却累計額	7,500,000	固定資産売却益	500,000

- ④ 新機械の取得原価
- ⑤ 現在使用している旧機械の売却価額
- ⑥ 固定資産売却損に対する法人税節約額 $4,900,000 \times 40\% = 1,960,000$

現在使用している旧機械の売却時

減価償却累計額 $12,000,000 \div 8年 \times 3年 = 4,500,000$

現金預金	2,600,000	設	備	12,000,000
減価償却累計額	4,500,000			
固定資産売却損	4,900,000			

- ⑦ 新機械の使用による現金支出費用の節約額
- ⑧ 新機械の使用による現金支出費用の節約額に対する法人税増加額 $2,000,000 \times 40\% = 800,000$

∴ 正味現在価値は、 $+ 2,562,600 - + 1,842,240 = + 720,360 \Rightarrow + 720,000$

(2)

旧機械をそのまま使用する案 (1) と同じ

新機械を購入する案

	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
in	⑥ 1,960,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000	⑦ 2,000,000
out	⑤ 2,600,000	① 1,200,000	① 720,000	① 432,000	① 259,200	① 388,800
	④ 7,500,000	⑧ 800,000	⑧ 800,000	⑧ 800,000	⑧ 800,000	③ 200,000
						⑧ 800,000
	△ 2,940,000	+ 2,400,000	+ 1,920,000	+ 1,632,000	+ 1,459,200	+ 1,888,800

現在		△ 2,940,000
1年後	+ 2,400,000 × 0.833 =	+ 1,999,200
2年後	+ 1,920,000 × 0.694 =	+ 1,332,480
3年後	+ 1,632,000 × 0.579 =	+ 944,928
4年後	+ 1,459,200 × 0.482 =	+ 703,334.4
5年後	+ 1,888,800 × 0.402 =	+ 759,297.6
正味現在価値		<u>+ 2,799,240</u>

- ① 減価償却費に対する法人税等節約額
加速償却法の償却率 $100\% \div 5年 \times 2 = 40\%$
1年後 $7,500,000 \times 40\% \times 40\% = 1,200,000$
2年後 $(7,500,000 - 3,000,000) \times 40\% \times 40\% = 720,000$
3年後 $(7,500,000 - 4,800,000) \times 40\% \times 40\% = 432,000$
4年後 $(7,500,000 - 5,880,000) \times 40\% \times 40\% = 259,200$
5年後 残り $(7,500,000 - 6,528,000) \times 40\% = 388,800$

② 5年後の売却価額

③ 5年後の売却時

固定資産売却益に対する法人税増加額 $500,000 \times 40\% = 200,000$

現金預金	500,000	設	備	7,500,000
減価償却累計額	7,500,000	固定資産売却益		500,000

- ④ 新機械の取得原価
- ⑤ 現在使用している旧機械の売却価額

⑥ 固定資産売却損に対する法人税節約額 $4,900,000 \times 40\% = 1,960,000$

現在使用している旧機械の売却時

減価償却累計額 $12,000,000 \div 8年 \times 3年 = 4,500,000$

現金預金	2,600,000	設	備	12,000,000
減価償却累計額	4,500,000			
固定資産売却損	4,900,000			

⑦ 新機械の使用による現金支出費用の節約額

⑧ 新機械の使用による現金支出費用の節約額に対する法人税増加額 $2,000,000 \times 40\% = 800,000$

\therefore 正味現在価値は、 $+ 2,799,240 - + 1,842,240 = +957,000 \Rightarrow +960,000$

(3)

旧機械をそのまま使用する案 (1) と同じ

新機械を購入する案

	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
in	⑥ 1,960,000	⑦ X	⑦ X	⑦ X	⑦ X	⑦ X
	⑤ 2,600,000	① 600,000	① 600,000	① 600,000	① 600,000	② 500,000
out	④ 7,500,000	⑧ 0.4X	⑧ 0.4X	⑧ 0.4X	⑧ 0.4X	③ 200,000
						⑧ 0.4X
	$\Delta 2,940,000$	$+0.6X+600,000$	$+0.6X+600,000$	$+0.6X+600,000$	$+0.6X+600,000$	$+0.6X+900,000$

現在

$\Delta 2,940,000$

$(+ 0.6X + 600,000) \times 2.99 = + 1.794X + 1,794,000$

$(+ 500,000 - 200,000) \times 0.402 = + 120,600$

正味現在価値

$+ 1.794X - 1,025,400$

5年の年金現価係数： $0.833 + 0.694 + 0.579 + 0.482 + 0.402 = 2.990$

① 減価償却費に対する法人税等節約額 $7,500,000 \div 5年 \times 40\% = 600,000$

② 5年後の売却価額

③ 5年後の売却時

固定資産売却益に対する法人税増加額 $500,000 \times 40\% = 200,000$

現金預金	500,000	設	備	7,500,000
減価償却累計額	7,500,000	固定資産売却益		500,000

④ 新機械の取得原価

⑤ 現在使用している旧機械の売却価額

⑥ 固定資産売却損に対する法人税節約額 $4,900,000 \times 40\% = 1,960,000$

現在使用している旧機械の売却時

減価償却累計額 $12,000,000 \div 8年 \times 3年 = 4,500,000$

現金預金	2,600,000	設	備	12,000,000
減価償却累計額	4,500,000			
固定資産売却損	4,900,000			

⑦ 新機械の使用による現金支出費用の節約額 X

⑧ 新機械の使用による現金支出費用の節約額に対する法人税増加額 $X \times 40\% = 0.4X$

\therefore 正味現在価値は、 $(+ 1.794X - 1,025,400) - + 1,842,240 = 0$

(4)

旧機械をそのまま使用する案 (1)と同じ

新機械を購入する案

	現在	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
						⑦ 1,550,000
in	⑥ 1,960,000	⑦ 1,550,000	⑦ 1,550,000	⑦ 1,550,000	⑦ 1,550,000	② 500,000
	⑤ 2,600,000	① 0.08X	① 0.08X	① 0.08X	① 0.08X	① 0.08X
out	④ X	⑧ 620,000	⑧ 620,000	⑧ 620,000	⑧ 620,000	③ 200,000
						⑧ 620,000
	+4,560,000-X	+930,000+0.08X	+930,000+0.08X	+930,000+0.08X	+930,000+0.08X	+1,230,000+0.08X

現在 $+4,560,000-X$

$(+930,000+0.08X) \times 2.99 = +0.2392X + 2,780,700$

$(+500,000-200,000) \times 0.402 = +120,600$

正味現在価値 $\Delta 0.7608X + 7,461,300$

5年の年金現価係数: $0.833+0.694+0.579+0.482+0.402=2.990$

① 減価償却費に対する法人税等節約額 $X \div 5年 \times 40\% = 0.08X$

② 5年後の売却価額

③ 5年後の売却時

固定資産売却益に対する法人税増加額 $500,000 \times 40\% = 200,000$

現金預金	500,000	設	備	7,500,000
減価償却累計額	7,500,000	固定資産売却益		500,000

④ 新機械の取得原価

⑤ 現在使用している旧機械の売却価額

⑥ 固定資産売却損に対する法人税節約額 $4,900,000 \times 40\% = 1,960,000$

現在使用している旧機械の売却時

減価償却累計額 $12,000,000 \div 8年 \times 3年 = 4,500,000$

現金預金	2,600,000	設	備	12,000,000
減価償却累計額	4,500,000			
固定資産売却損	4,900,000			

⑦ 新機械の使用による現金支出費用の節約額

現金支出費用の節約額

$2,000,000 \times 40\% = 800,000$

$1,500,000 \times 30\% = 450,000$

$1,000,000 \times 30\% = 300,000$

1,550,000

⑧ 新機械の使用による現金支出費用の節約額に対する法人税増加額 $1,550,000 \times 40\% = 620,000$

\therefore 正味現在価値は、 $(\Delta 0.7608X + 7,461,300) - + 1,842,240 = + 500,000$

$X=6,728,522.60\cdots \Rightarrow 6,730,000$

第2問

- (1) 「初年度の正味現金流入額は投資案Aの方がかなり多い」という資料から、投資案Aの方が早期に回収できると考えられる。よって、投資案Aの方が有利である。
- (2) 「投資案Bの正味現金流入額は最終的に投資案Bの方が上回る」という資料から、投資案Bの方が単純投下資本利益率は高いと考えられる。よって、投資案Bの方が有利である。
- (3) 正味現在価値が0となる割引率が投資案Aの方が高いので内部利益率は投資案Aの方が高い。よって、投資案Aの方が有利である。